



FOR CANDIDATES

100年企業創出にチャレンジしたい首都圏の方へ

緊急ミッション

次代の信州を創る

100年企業を研究せよ。

Make a new history for next 100 years.

リサーチ・フェロー募集



フィールド

次代の100年創造にチャレンジする長野県企業等

期間

毎年10月～翌年3月末

ミッション

各自フィールド企業の経営や事業に参画。期間・各種条件の中で

1. これまでのキャリア・ビジネスフィールドで培った能力やネットワークを最大限に活用し、100年企業となるための課題解決に取り組む
2. 上記1.のため信州大学の課題解決研究・人材育成プログラムに参画すること
3. 今後の自身のキャリア(ワーク・ライフ)をデザインすること

求められる人物像

- ・特定の専門性を有しながら、新たなチャレンジをとおして、自立的なキャリア形成を望む人
- ・さらに、そのチャレンジの場所や機会として地域・地方に可能性を見い出し、クロスアポイントメントや兼業、多地域居住など地方での新たな働き方の創出を志向する人材

委託費

マッチングした企業から、ミッション解決の委託費として、月額30万を支給

応募期間

令和2年7月20日～令和2年8月末頃まで

応募条件

1. 週4日程度、長野県内企業で勤務が可能であること(勤務時間は、研究先企業の規定に準じます)
2. 週1日、信州大学松本キャンパス等でゼミ参加が可能であること(主に平日1日にゼミを実施、隔週土曜日に研究発表会等が開催する予定です)
3. プログラム期間中における、住居、交通手段は自身で確保・手配すること(詳細は、研究先企業との決定後の調整となります)

応募後の流れ

1. 記載いただいた応募内容と参画企業での研究テーマを照合し、該当する方に対し、随時、プログラム事務局から、記載頂いたメールアドレスにてご連絡を差し上げます
2. プログラム事務局との面接、参画企業との面談の後、本プログラムの研究員としての参画が確定します(面接・面談によってお見送りになる場合もございます)
3. プログラム事務局との面接は、電話またはオンライン会議システムで行う予定です。参画企業との面談は、東京、もしくは長野県内で行う予定です。長野県内で行う場合の交通費は、参画企業にて後清算いたします。

信州大学のリサーチ・フェローになるメリット

1. 信州大学のリカレント教育プログラム受講

リサーチ・フェローとしての活動期間中、信州大学が主催する「ゼミ」に参加し、先進的事例に取り組む方々を講師に迎えて事例を学ぶ機会を作るとともに、コンソーシアム参画企業メンバー、企業経営や地域活性化に関する研究者（信大教員）と研究員によるケース・メソッド学修を実施します。それぞれ派遣先企業での問題を共有しながら、協力して課題の分析や解決策の検討に取り組みます。

2. 業績優秀で希望者は大学の客員教員等として 本学の産学連携事業パートナーとして活動へ

客員教授等への昇格を希望するリサーチ・フェローは、当該年度の派遣期間終了後、担当企業に対するフォローを継続しながら、さらなるデータの蓄積や課題解決事業を進め、その成果を「原著論文」としてまとめる。本論文等の実績は客員教員としての評価にも活用する。

3. 地方でのワーク・ライフをつくるための 大人のインターンシップの機会として活用可能

約6か月間、長野県内で暮らしながら、本プログラムを受講することで首都圏とは異なる地方でのワーク・ライフの経験を通じ、自分らしく働くことを考える機会を得ることができます。

4. 企業での学び

ご自身のこれまでのご経験を企業経営の現場で活かすことで、「経営」というものを実体験を通じて知る、または実践することが出来、ビジネスパーソンとしてのこれからの具体的なキャリアパスを形成する機会を得ることができます。

信州大学での学び・研究のイメージ

リサーチ・フェローは、週3～4日は受入企業に伺い経営課題の整理・解決を行い、週1～2日は、大学のゼミで教員・大学の知見を活用し、課題の整理・解決にむけた研究、100年企業構想のための研究を行います。

具体的には、リサーチフェローとして派遣された受入企業内において「研究会」を発足。経営者等が感じている問題点について自身が中心となって企業の若手スタッフ等とディスカッションや経営資料等の分析を行います。また、問題の構造的把握を行った上で、取り組むべき課題（短期的課題と長期的課題の整理を含む）を設定し、解決に向けたプラン作成を行います。課題解決プランについて、受入企業の経営者と大学等で相談を行い、派遣期間内において取り組む内容を決定します。

【プログラムイメージ図】



6名(予定)

信州大学、SCOP、松本山雅



6社(予定)



信州100年企業創出プログラム

①信大教員による研究員指導



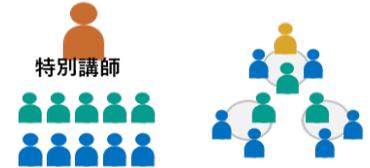
信州大学教員による個別ゼミを開設。
参画企業様の課題の整理・解決、
成長シナリオの作成に向けた研究サポート

②経営課題の整理・解決サポート 100年企業を見据えたシナリオ作成



研究員が企業さまにて、課題の整理・解決を
社内メンバーの皆さまと取り組み、関係構築を
行いながら、現状を踏まえた成長シナリオを作成

③経営人材の育成支援



参画企業様の経営者・次世代経営者・
幹部人材を対象とした人材育成プログラム
を合わせてご提供



週3~4日、企業に伺い経営課題の整理・解決を行います。

週1日、大学のゼミで教員・大学の知見を活用し、課題の整理・解決にむけた研究活動、シナリオ作成のための研究を行います。

プログラム・スケジュール

10月
(研究員委嘱 任期1年6ヵ月)

翌年3月

翌年4月以降

翌々年3月末日
(研究員委嘱 満了日)

「100年企業創造ゼミ」(隔週1)
・企業課題アセスメント、および100年経営構想策定

「スキルアップ/地域に関する学修」(隔週1)
・教員によるアドバイス
・大学内外の専門家による特別講座の受講

「集中討議ワークショップ」(期間中4~5日程度)
・レクチャー、ディスカッション、および有識者との集中討議
・結果発表(中間、最終報告会等)

修了レポート提出後、
任期満了日まで研究員として活動

修了レポートの作成と提出
・修了レポートの作成と提出
・修了プレゼン
・地域活性学会の研究テーマ設定
・4月以降の活動・就労先決定

地域活性学
会発表ほか、
地域に貢献
できる成果

客員教員希望者
の成果を審議



承認後、
産学連携担当
「客員教員」
に委嘱

クライアント企業における経営改革
週4日間の経営改革業務の実施

・1つのゼミに2名程度の研究員が所属
(クライアント企業の地域などによってゼミを構成)

ミッション先となる企業

降幡自動車株式会社 <http://www.furihata-feeli.com/>

業種

新車・中古自動車販売・一般整備

ミッションテーマ

社内組織の強化

ミッション背景

人づくりは組織づくり、持続性企業の確立、人の輪づくりという3つの経営方針のもと、地域に多くの顧客を得てきた。今後100年先の未来も地域に愛される企業を目指す為に、顧客満足度をさらに向上出来るような組織に強化したい。社内のコミュニケーションを活発にし、新サービスを現場から創出出来るような雰囲気になりたい。

セントラルパック株式会社 <https://www.centralpack.co.jp/>

業種

食品製造業

ミッションテーマ

工場の生産ラインの改善及びIoTやICTを活用し、効率的な生産向上を目指す。

ミッション背景

少量対品種、高付加価値商品を中心のレトルト食品OEM生産を主業務としてきた。ここ数年、新規求人の低下、熟練工の退職、働き方改革により、生産能力の増強が喫緊の課題になっている。今後100年先の未来を見据え、既存の工場生産工程の改善、及び設備投資やIoTやICTを活用し、生産力向上の仕組みを作りたい。

株式会社片桐建設 <http://www.katagiri-kensetsu.jp/>

業種

総合建設業

ミッションテーマ

顧客データをデジタル化し、それらを活用した新しいマーケティングの開発、強化。社内の人材育成の強化。

ミッション背景

既存の方法では顧客情報管理が難しくなってきたため、デジタル管理に移行し、営業活動を効率よく進めるように構築したい。それらを活用し新たな営業方法を開発していきたい。また今後100年企業として成長し続けるために、社内の若手人材育成と経営戦略を立案したい。

ミッション先となる企業

ゴトー電機株式会社 <http://www.gotodenki.co.jp/>

業種

機械工具の設計・製造・販売

ミッションテーマ

工具の技術開発及び量産化市販化にむけての準備

ミッション背景

長年塗装工事時に使用する工具の開発・製造し、世界中で販売してきた。今後、労働人口が減少傾向にあり、作業効率を向上させる工具の技術開発と販売を進めていきたい。そして、新開発された工具を使用した作業工程を、世界の新標準として打ち立てたい。

株式会社オーイケ <http://www.ooike.net/>

業種

製造、建設・住宅・不動産

ミッションテーマ

効率的なマーケティング基盤構築と、持続可能な人事・採用の仕組みづくり

ミッション背景

地域のインフラ構築として欠かせないコンクリート製品の製造、販売を通して世界中に安心・安全を届ける使命がある。今後も永続的に地域に根差した会社であるために、顧客データシステムの管理、整備の効率化を計り、マーケティング基盤として強化して行く必要がある。また、他社には無いオリジナリティのある製品づくりにチャレンジしていく上で、仕事を通じた人の成長は欠かせない。100年企業を見据えた持続可能な人事・採用の仕組みづくりにもチャレンジしていきたい。

令和元年度 担当教員の紹介（※令和2年度の教員は現在選定中です）



中嶋 間多（なかじま もんた）

信州大学 特任教授／地域活性学会 会長

[略歴]

大阪大学工学部卒、慶応義塾大学大学院文学研究科修了。専門はまちづくり。特に地域活性化のためのまちづくり構想を得意とする。信州大学人文教授・学長補佐、事業構想大学院大学研究課長・副学長等を歴任。



林 靖人（はやし やすと）

信州大学 学術研究院／総合人間科学系 准教授(博士:学術、専門社会調査士)

[略歴]

信州大学大学院総合工学系研究科修了。専門は感性情報学であり、ブランドを研究テーマとする。大学発ベンチャーでの経験(新規事業創出等)を活かし、現在、信州大学の産学官連携やキャリア教育、地域貢献活動を担当。



北村 大治（きたむら だいじ）

特定非営利法人SCOP 主席研究員／(株)Social Arts Consulting 代表取締役

[略歴]

信州大学繊維学部卒、同大学院イノベーションマネジメント修了。地方自治体・地域公共機関への政策提言、政策策定の経験が豊富。中小企業支援機関勤務、SCOP専務理事の経験より、地域企業のコンサルにも強みをもつ。



山本 美樹夫（やまもと みきお）

(株)日本人材機構 顧問／(株)A・Tカーニー 元プリンシパル

[略歴]

東京工業大学金属工学科卒、総合理工学研究科修士課程修了。シカゴ大学経営学修士課程修了。専門は企業コンサルティング。19年間の大手コンサル会社勤務・自身での起業・ベンチャー企業支援等の経験から、大企業～創業企業まで幅広く、企業支援が可能。

